

冬の彩り ホットな心でおもてなし

第38回 只見ふるさとの雪まつり

町制施行50周年を記念した「第38回只見ふるさとの雪まつり」が、2月12日の大雪像ライトアップからスタートし、13日、14日の二日間にわたりJR只見駅前広場をメイン会場に行われました。

真冬の天候とは思えないほどの好天に恵まれ、青空が広がる日中と澄んだ星空が広がる夜に行われた雪まつりには、期間中21,000人の入場者が訪れ、只見の大イベントは最高の盛り上がりを見せました。

毎年、その圧倒的なスケールで入場者を驚かせる大雪像、今年姿を現したのは、只見町を代表する山城「水久保城」、戦国時代に伊達政宗も落せなかった難攻不落の山内氏勝の居城です。当時、実在した城とは異なる姿かもしれませんが、威風堂々とした城をイメージして作られました。高さ13メートル、幅30メートルの真っ白な水久保城は陽光に眩しく輝いていました。

雪の入場門「とら」は今年も(株)J.P.ハイテック田子倉事業所が作製されました。門の前では団体客などが楽しそうに記念撮影していました。

駅前通りには只見小学校児童が作製された雪面の壁画が来場

者を迎え、場内には夜になると幻想的な雰囲気を出すキャンドルロードをはじめ、交通安全全協会の方々、そして朝日小学校、只見中学校、只見高校の児童生徒が作製された雪像の数々が入場者の目を引いていました。さらに、雪のトンネルやすべり台、かまくらにもチビツ子が集まり大人気でした。

また、訪れた皆さんを温かく迎えてくれる「ゆきんこ市」にも大勢の方々が集い、只見ならではの郷土料理を堪能したりゲームで遊んだりしながら、地元の方と触れ合っていました。恒例の地酒・甘酒のふるまいコーナーにも列ができ、只見町赤十字奉仕団によるなめこ汁サービスや、民芸品・つる細工展示即売コーナー、木の葉、只見町食生活改善推進委員会のコーナーの前にも家族連れなどが集い、ざく煮やニシン漬けなどの地元料理を味わっていました。

只見スキー場では、スノーモー

ビル体験やスノーシュー体験のイベントが行われ、雪と触れ合うスポーツの醍醐味を楽しもうと大勢の方が詰め掛けました。

只見地区センターでも、只見音研ショーが開かれ、バンド演奏、舞踊、漫談、歌謡ショーなどが披露されるたびに、満員の場内には拍手や歓声が響いていました。

只見の豪雪を上手に利用し、長い奥会津の冬を町民みんなで明るく楽しく過ごそうとスタートした雪まつりも38回を数え、東北でも最大級の雪まつりに成長しました。毎年、この一大イベントを成功させるためにご尽力いただいている皆様、そしてご協賛を賜りました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

雪まつりが終わると、只見にも春を感じさせるような日差しが多くなり、雪解けも早さを増します。暖かい春はもうすぐです。



▲ライトアップされた大雪像「水久保城」



▲雪の入場門「寅」





スノーフラッグス



総踊り



福餅まき



梁取太々神楽

▼13日(第1日)

午前9時45分、ふたりの雪むすめ(有田真弓さんと目黒由貴さん)が持つ「歓迎只見ふるさとの雪まつり」のプラカードを先頭に、陸上自衛隊郡山駐屯地音楽隊パレードで、第38回只見ふるさとの雪まつりが幕を開けました。

開会式では、主催者を代表して目黒町長が「素朴な人情と冬文化に親しんでください。そして、夜の幻想的なライトアップと花火をぜひ楽しんでください」とあいさつをしました。

開会式終了後、福餅まきが行われ、梁取太々神楽で厄払いをした後、メインステージや会場中央の広場では様々なイベントや芸能発表、もとやまレース福島大会、雪中大神輿、厄男衆が裸で行う勇壮な厄払いの儀、おんべなどが行われました。最後は祈願花火が華やかに打ち上げられ、一日目が終了しました。



もとやまレース福島大会



厄払いの儀(厄男衆入場)



キャンドルナイト



雪中大みこし



おんべ



郷土芸能ステージ



力士のもちつき



おいしい甘酒



雪のすべり台

この日も晴天、ウルトラマンマックスショーに子どもの大歓声が響いた後は、小林早乙女踊り、小川早乙女踊りなどの芸能発表が行われました。午後は入間川部屋に所属する力士、「将司」、「暁司」、「恵那司」の3名がステージに登場、相撲甚句を披露され、餅つきや握手会で入場者と触れ合いました。また、場内の特設ゲレンデではスキー・スノーボードのパフォーマンスショーが、ステージではカラオケ大会、バンドコンサート、天領只見仙嶽太鼓などが行われ、会場内は、一日中にぎわいました。まつりの最後は祈願花火でフィナーレとなりました。

▼14日(第2日)



ジブショー



天領只見仙嶽太鼓



圏外バンドのコンサート

雪まつりを盛り上げていただいた 雪むすめからひとこと



有田 真弓さん

今回、初めての雪まつりで、雪むすめという大役を任されることになり、自分に果たせるのかとても心配でした。ですが、周りの方の適切な指示と、地域の方々や多くの来場者の皆様からの温かい励ましもあって、当日は雪むすめの業務を果たすことができました。

会場内では多くの方の笑顔を見ることができ、私も嬉しくなりました。只見町民として地域の人達と一体となり、只見のよさを多くの人に知り味わってほしいという想いのもと、この大きなイベントに関われたことは貴重な経験となり、忘れられない思い出となりました。

応援してくださった多くの皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



ようこそ雪まつりへ



目黒 由貴さん

今回、雪むすめをやらせていただいて私が思った率直な感想は『楽しい！嬉しい！』です。

まず、来場してくださったみなさんや、雪んこ市に出店してくださっていた方々に気さくに声をかけていただいたり、応援していただいたりと、嬉しいことばかりの充実した2日間を送ることができました。また、実行委員始め役場の方々、関係者の方にも本当に優しく支えていただき、この只見の大イベントをみんなで成功させた！という誇りと感謝の気持ちでいっぱいです。そして地元只見の素晴らしさを改めて実感できたこと、これからもっともっと只見を盛り上げて行きたい！という強い気持ちが芽生えたことが、雪むすめを務めた上でなによりよかったかな、と思っています。

寒さや恥ずかしさなど大変なこともありましたが、それも含めて良い思い出になり、それもこれもみなさんの暖かい支援のおかげだと感じています。本当にありがとうございました。



目黒 由貴さん



有田 真弓さん

雪まつり「ミニ雪像コンテスト」

石伏区雪像をつくる会

4年連続で最優秀賞を受賞

3月5日、只見地区センターで第38回只見ふるさとの雪まつり「ミニ雪像コンテスト」審査会が開かれ、最優秀賞に石伏区雪像をつくる会の「寅（エコにトライ）」が選ばれました。雪像をつくる会は4年連続の最優秀賞受賞となりました。応募総数は59点でした。

コンテスト参加作品は、次の日程で写真展示されます。

～展示日程～

- 3月5日～12日（只見地区センター）
- 3月15日～22日（朝日地区センター）
- 3月23日～30日（明和地区センター）

最優秀賞 「寅（エコにトライ）」
石伏区雪像をつくる会



◀ **グッドデザイン賞**
「防犯・交通安全
パトロール大使
ドラえもん」
交通安全協会

▶ **グッドテクニック賞**
「ようこそ只見へ」
只見沖組&東邦銀行



◀ **グッドキャラクター賞**
「河井 継之助」
塩沢観光協会

▶ **グッドアイデア賞**
「親と子」
渡部哲夫さん(福井)



◀ **朝日建設賞**
「蒲生巨大
雪だるま」
蒲生集落活性化委員会

優秀賞 「虎」
目黒彰一さん(只見田中)

